

令和2年1月29日から30日にかけて、全老連で「都道府県・指定都市老人クラブ連合会代表者会議」が開催されました。

この会議は、年1回、全老連に加入するすべて

都道府県・政令指定都市の会長・女性代表者・事務局長が集

い、老人ク

ラブの活性



化を通じて老人保健福祉の推進に寄与するために開催するもので、老人クラブを取り巻く諸課題をはじめ、令和2年度全老連事業について検討が行われました。

とりわけ、今回の会議では、①老人クラブ「100万人会員増強運動」の総括報告、②分担金の見直し問題が中心となりました。

ウオークラリーに参加して

ねんりんピック紀の国わかやま2019



令和元年11月9日〜12日、第32回全国健康福祉祭和歌山大会が開催され、ウオークラリー競技に、淡路市の私たち「おのころ5」の5人が参加しました。

大会前日の8日は、翌9日の総合開会式に備え和歌山市内の宿舎に前泊し、総合開会式には、全国から参加者約1万人（兵庫県選手団161人）、一般観覧者・招待者・出演

1 会員増強運動の今後のあるべき方向について

- ① 市町村老連の再生に向けた取り組み
- ② 全員協力での会員増強運動
- ③ 体制づくりと目標の共有化が積極性を生む
- ④ 60歳代に限定せず高年全層に加入の呼びかけ
- ⑤ 地道な勧誘活動が有効
- ⑥ 「独自の運動目標・計画」を加え、主体的な運動展開を
- ⑦ 都道府県・指定都市老連ごとの分析・評価を

2 分担金の見直しの提案

- ① かねてから議論のあった加入団体間の負担格差を縮小する。
 - ② 負担金算定方式の見直し
- <現行>
平等割 40%・クラブ数割 60%
- 【総額固定方式】
- <改正案>
加入団体均等負担+@160×クラブ数
- 【クラブ数による変動方式】



※ 令和2年3月の全老連の理事会・評議員会での議論の上、分担金の見直しが行われる予定です。



者等約1万人と合わせて約2万人が参加する中、私たちも入場行進に参加しました。

全国から参集する選手の皆さんのお元気さと、地元の関係者による壮大なアトラクションには、深い感動を覚えました。

その後、ウオークラリー競技の開催会場である由良町へ移動し、宿舎に入りました。

その宿舎では、幻の高級魚クエ鍋をはじめとする海の幸尽くしの料理で大いに鋭気を養いました。迎える10日はウオー

クラリー本番。実は、私たち5人は、ウオークラリーに初参加！あまりルールもよく分からないままエントリーしました。

朝、地元由良町の皆さんの心温まるオープンングセレモ

ニーに送られながら、午前10時にスタート。5名は、コマ図を頼りに、途中の観察ゾーンやルート上の様々な課題・ゲームを楽しみながら約2時間ほどでゴール地点に到達し、そこで出題される観



察ゾーンに関する問題について、ワイワイ意見を交わしながら回答を出し、みんな揃ってゴールしました。

成績は、参加41チーム中、なんと初参加で8位に入賞することができました。素晴らしい天気にも恵まれ、チームのみんなや他の参加者と一緒になって歩きながら、考えながら、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています